

ところざわ倶楽部
第 19 期 定期総会資料

2025 年 11 月 26 日 (水)
小手指まちづくりセンター分館 ホール

目 次

1. 第 18 期ところざわ俱楽部総括	P 3
2. 第 18 期活動報告	
2 - 1 総務部報告	P 5
2 - 2 事業部報告	P 7
2 - 3 広報部報告	P 9
2 - 4 サークル活動報告	P10
3. 第 18 期会計報告および監査報告	P17
4. 第 19 期役員改選 (案)	P18
5. 第 19 期ところざわ俱楽部活動方針 (案)	P19
6. 第 19 期活動計画 (案)	
6 - 1 事業活動計画 (案)	P20
6 - 2 広報活動計画 (案)	P21
7. 第 19 期予算 (案)	P22

1. 第18期 ところざわ俱楽部 総括

持続可能な仕組みづくりに向けて 第2章

会長 松尾 基昭

この一年、世界は平和・秩序の面だけでなく、トランプ政権の相互関税問題に端を発する経済的な課題を抱え、大変困難な時代を迎えていました。これまで築き上げられてきた民主主義や自由貿易の国際ルールは、軍事力を背景とする中国やロシアの覇権主義、そしてトランプ政権の「アメリカ第一主義」により危機に瀕しています。これにグローバルサウスと呼ばれる新興国が第三勢力として加わり、世界の分断化が進み、リーダーなき混沌が深まっています。

一方、今年の記録的な猛暑が示すように、地球温暖化問題は身近に迫っています。多くの報道がなされているにもかかわらず、世界的な取り組みには全く至っていません。人類の未来は不安でいっぱいです。

このような困難な時だからこそ、日本には国際社会の中で影響力のある国の一として、その存在感を是非發揮してもらいたいと痛切に感じています。

このような厳しい状況下で、今年、日本人2人がノーベル賞を受賞したという報道は、私たちに元気を与えてくれる朗報となりました。

(活動概況)

今年度は、「持続可能な仕組みづくりに向けて第2章」として、楽しく元気な活動を積極的に展開してきました。活動目標として掲げた「1. 活動の維持・充実の継続」「2. 俱楽部の内外へのPRの推進」「3. 市民大学とのパイプの強化」「4. 社会貢献への取り組み」の各々で、相応の成果を得ることができました。

具体的には、15期に12に減ったサークルは、16期13に、17期14に増加しました。その間、会員の高齢化が進んで退会者が増えましたが、市民大学修了生への呼びかけなど、会員をはじめとする関係者各位のご協力により、退会数を埋め合わせる新会員を迎えることができ、活動レベルを維持できました。期末になり、長年活躍されてきた「食を通して所沢を知る会」が、会員の高齢化のため俱楽部から退会されるという残念な届出がありました。しかし、同時に、新しく3つのサークルが19期から俱楽部に加入することになり、全体の活動がさらに盛り上がることにつながるでしょう。

市民大学との連携では、31期市民大学修了生への説明会実施、さんさん会を交えた生涯学習センターとの打ち合わせ、広報紙「広場」や行事案内チラシ等の配布を通じて、連携強化を図りました。

また、社会貢献の一環として、地元の早稲田大学（人間科学部・大学院）の二つの研究室に対し、シニアの社会進出や会話型ロボット実験に関する研究協力等に取り組みました。さらに、サークルの共同開催行事を実施し、学びの機会の拡大と会員の交流推進を図りました。各サークルを通じた対外活動への積極的な取り組み等も、俱楽部の認知度向上に大きく寄与しました。

ほかに、俱楽部まつりで募金し、所沢市社会福祉協議会「所沢市こども未来基金」に寄付しました。同じく「食を通して所沢を知る会」の呼びかけで集めた食料品を「フードバンク西埼玉」へ届けました。

(活動実績)

執行機関として、役員会と理事会を毎月開催（8月を除く）し、意見交換と情報共有を図り、俱楽部の円滑な運営に努めました。

事業部は、企画した行事3月「ところざわ俱楽部寄席」、5月文芸講座「文学と旅」、7月時局講演会「世界情勢を占う」、9月「ところざわ俱楽部まつり」を計画通り開催しました。集客には一部ばらつきがあったものの、総じて盛会裡に終了いたしました。特に「ところざわ俱楽部まつり」は、活動の総仕上げ的な位置付けとして定着し、今年も大変な盛り上がりを見せました。なお、従来の文芸講座以外にも、一部行事で有料化を実施しました。

広報部は、毎月編集会議（8月を除く）を開催し、広報紙「広場」を発行しました。サークルや会員等の情報収集に努め、行事の計画・報告、サークル活動動向、時々の話題、会員情報、川柳等を記事にし、内外への情報発信を行いました。ホームページについても原則週1回更新し迅速かつきめの細かい情報の提供に配慮しました。

総務部は、毎月の理事会開催、会員動向の把握、会計、総会の準備等、俱楽部の支えとしての役割を果たしました。

詳細は各部報告をご参照ください。

また、14のサークル活動も、個々の特徴を生かしながら活発に展開されました。詳細については、本資料の各サークル活動報告をご覧ください。

2.

第18期 活動報告

2-1 総務部報告

総務部長 中原 幹男

1. 会員動向

第17期末、ところざわ倶楽部在籍会員は230名でした。

第18期入会者は、29期修了生3名、30期修了生14名、一般5名、復活7名を含む29名に対し、退会者は32名となりましたので、第18期の期末在籍人員は227名。前期比で3名減少しました。そのうち一般会員合計は、32名です（前期比+4名）。

尚、会員の男女比は、およそ52:48（昨年51:49）となり、わずかに男性会員が増えました。

2. サークルの動向

第17期当初13のサークルでスタートしましたが、17期5月、市民大学29期“日本の芸能グループワーク”修了生を中心に、「謡曲・仕舞を楽しむ会（観世流）」サークルが立ち上り当倶楽部に加入し、18期は合計14サークルが活動しました。（2-4サークル活動報告参照）

「食を通して所沢を知る会」から、18期末をもって退会の旨届けがありました。

11月10日第11回理事会にて、次の3サークルの第19期加入が承認されました。

- ・市民大学オカリーナ 代表 西田尚美 会員6名
- ・脳健康とフレイル予防研究会 代表 佐藤重松 会員14名
- ・ところざわ倶楽部読書会 代表 河登一郎 会員6名

3. 理事会の開催

2024年12月9日（月）に開催された第18期第1回理事会で、松尾会長は「サークルや会員一人ひとりの力を結集し、理事会が中心となって、楽しく元気で多様な倶楽部活動の1年にしたい」と呼びかけました。以後、毎月第2月曜日午前10時から、主に新所沢東公民館において11回の定例理事会を開催し、毎回、20名の理事の殆どが出席して諸課題を話し合いました。理事のみなさまには、それぞれの事業計画の遂行はもとより、理事会での討議や諸事項の連絡、各事業参加者の出欠確認、年会費の集金など、倶楽部とサークルとの懸け橋となってご尽力いただきました。又、会長、副会長・部長、副部長の5名により、各事業の準備や理事会連絡事項の確認のため、役員会を12回開催しました。

4. 市民大学との連携

ところざわ倶楽部の理事会に、市民大学第31期堀企画委員長並びに32期下村企画委員長に加わって頂くとともに、市民大学受講中の31期・32期生の方々へは広報紙「広場」

の定期配布や諸行事のチラシ配布などを通じて、ところざわ倶楽部行事やサークル活動などを紹介し、参加への働きかけを行いました。

9月11日のOB団体説明会に「さんさん会」と共に出席し、ところざわ倶楽部の行事など活動紹介と、「地球環境に学ぶサークル」、「謡曲・仕舞を楽しむ会」の2サークル紹介を行い「入会申込書」「サークルの作り方」を配布しました。今年度も市民大学終了後の勧誘会は中止となりました。今後、2年次グループワークの履修生を中心に、ところざわ倶楽部との接点を築く機会を増やすことが重要と思われます。

一昨年から力を入れてきたサークルの立上げ呼びかけにより、19期には3サークルが立ち上る予定です。

5. 会計

後記、第18期会計報告及び監査報告をご覧ください。

尚、「第5回ところざわ倶楽部まつり」における寄付金13,463円を全額所沢市社会福祉協議会「所沢市こども未来基金」へ寄付しました。

ほかに、「食を通して所沢を知る会」の呼びかけて倶楽部まつりの際集まった食料品を「フードバンク西埼玉」に届けました。

なお、「食を通して所沢を知る会」で行ってきた食料品支援は、倶楽部で引き継ぐこととしました。

2－2 事業部報告

事業部長 野口 喜美夫

今年度も、ところざわ倶楽部のキャッチフレーズ「持続可能な仕組みづくりに向けて第2章」を念頭に、各事業に取り組みました。

計画した「ところざわ倶楽部寄席（落語・講談・ダンス）」、文芸講座「文学と旅— そうだ旅に出よう」、時局講演会「世界情勢を占う～独立自尊の魂を取り戻せ」の各行事を、皆さまのご支援とご協力により、無事開催することができました。誠にありがとうございました。

また、今年度の活動の締めくくりとして、9月26日（金）に開催した「ところざわ倶楽部まつり」では、14サークルのうち6サークルが活動成果を発表し、観客の皆さんに新たな感動を届けることができたのではないかと思います。

事業部活動実績

	イベント名	開催日	会場	参加人員	備考
1	ところざわ倶楽部寄席 出演：所沢演芸会 ※ 新入会員歓迎会	3月21日 (金)	所沢まちづくりセンター ホール	92名 (会員 59名)	一般： 1000円 会員： 500円
2	文芸講座 「文学と旅 … そうだ旅に出よう」 講師：及川道之	5月16日 (金) 5月23日 (金)	新所沢まちづくりセンター ホール	5月16日 78名 (会員 55名) 5月23日 58名 (会員 38名)	一般： 1500円 会員： 1000円
3	時局講演会 「世界情勢を占う～独立自尊の魂を取り戻せ～」 講師：真田幸光	7月2日 (水)	小手指まちづくりセンター 分館 ホール	118名 (会員 84名)	一般： 500円 会員： 無料
4	ところざわ倶楽部まつり	9月26日 (金)	所沢まちづくりセンター ホール	197名 (会員 139名)	無料
5	定期総会と第2部	11月26日 (水)	小手指まちづくりセンター 分館 ホール		無料

1. ところざわ倶楽部寄席

所沢まちづくりセンターホールの年間利用制限があるなか、所沢演芸会のご厚意と、同センターのご配慮により、「協力」という形で開催することができました。落語・講談とともに玄人はだしの芸で、多くの観客のみなさまが満足されたことと存じます。

なお、今回は、年度全体の事業予算を考慮し、入場料を一般：1,000円、会員：500円にしました。新入会員の方々には歓迎の意を込めて無料といたしました。

2. 文芸講座

「文学と旅 — そうだ旅に出よう」というテーマで、秋草短期大学の及川道之名誉教授にご講演いただきました。開催日は5月16日（金）および5月23日（金）で、例年よりも早い時期での実施となりました。

「旅の巨人」柳田国男と司馬遼太郎に倣い、「生涯を通して忘れられない旅とは何か」「人は何を求めて旅に出るのか」といった問いを、『清光館哀史』や『街道をゆく』などの文学作品を通して考察されました。及川教授ご自身の思い出のスライドを交えながら、興味深いお話を展開されました。

ただ、期待したほどの参加者がなく、今後の課題として残りました。

3. 時局講演会

国際金融経済学者で嘉悦大学副学長の真田幸光教授をお招きし、「世界情勢を占う～独立自尊の魂を取り戻せ～」の演題でご講演いただきました。真田教授は所沢市在住で、BSフジなどのマスコミにもたびたび登場されるほか、愛知淑徳大学でも教鞭を執られています。

講演では、真田教授が非常にエネルギーに舞台や観客席を行き来しながら、マイクを使わず1時間半以上にわたり、熱意あふれる語りで進行されました。アンケートでも多くの方々が深い感動を受けたと回答されています。

なお、入場料は一般：500円、会員：無料といたしました。

4. ところざわ倶楽部まつり

今年度のキャッチフレーズを「ときめきは年齢を知らない」としました。

個人展示部門では、倶楽部会員の皆さんによる力作を展示していただきました。

舞台部門では6サークルが活動成果を披露し、年々レベルが向上している様子がうかがえました。観客の反応もおおむね好意的で、大いに盛り上りました。個人展示でも舞台発表でも、まさに「ときめきは年齢を知らない」を体現する素晴らしい内容だったのではないでしょうか。

特別出演の黒澤誠登さんによるストラディバリウスのバイオリン演奏は、さすがに見事な音色で、観客を魅了しました。

反省点としては、14サークル中6サークルの発表にとどまった点が挙げられます。来年度はもう少し多くのサークルにご参加いただければと思います。

5. 総会

総会の第2部では、湊谷采加（みなとや あやか）さんによるサックス演奏を予定しています。プロのサックス演奏を、どうぞ存分にお楽しみください。

2－3 広報部報告

広報部長 横山 芳江

1. 本年度の活動

広報部は、各サークルや地域で活躍されている皆さまを応援し、会員相互の情報共有を促進することを目的に、広報紙「広場」とホームページの2つの媒体を基盤として発行・発信活動に取り組んできました。

各サークルとのコラボレーションを進めながら、活動を幅広く紹介することで、会員間の交流の輪をいっそう広げることができました。

2. 広報紙「広場」

- ・今年度も広報紙「広場」は、8ページ構成で毎月発行しました。編集委員のご尽力により、紙媒体としての情報発信ツールとして十分に機能してきました。
- ・連載コーナー「あの日あの時」では、内容のバランスにも配慮しながら、新たな試みとして「心に残る思い出」「日常で共感できるテーマ」「当俱楽部が協力している社会貢献の現状」などの投稿を、1ページまたは半ページ単位でエッセイ風に掲載してきました。
- ・投稿者の男女比については、昨年度は男性7割・女性3割でしたが、今年度は女性の積極的な参加が増え、4月号以降はおおむね5割ずつとなりました。「広場」が男女を問わず幅広く投稿できる場となりつつあります。
- ・編集面では、写真のサイズ拡大や文字フォントの大型化、原稿依頼文字数の約100文字削減、レイアウトの統一化など、見やすさ向上に努めてきました。これらの改善は編集委員の協力により実現したものです。
- ・また「ところざわ俱楽部」の各種イベント紹介にも力を入れ、ポスター画像を誌面に掲載するなど、視覚的にも分かりやすい紙面づくりに取り組みました。

3. ホームページの活用

- ・ホームページ(HP)は、原則として毎週日曜日に更新し、会員の皆さまへ最新情報を発信してきました。
- ・サークル活動報告や会員の投稿、ビデオ動画など、内容の充実した多彩なコンテンツを掲載してきました。
- ・注目のイベントとして「ところざわ俱楽部寄席」「文芸講座」「時局講演会」「第5回ところざわ俱楽部まつり」などをYouTubeにアップロードし、多くの会員にご視聴いただきました。これにより、アクセス数の向上にもつながりました。
- ・また、新編集委員メンバー全員で、会員によるデジタルデバイスの活用促進にも取り組んできました。

2-4 サークル活動報告

1. アジア研究会 代表：中原幹男 連絡先：080-4151-1045 会員数：38名

①今年度の方針

アジア情勢に関する各種テーマにつき会員の研究報告を受け、討論を進める

②今年度の活動実績（24年12月～25年11月）

- ・12月11日(水)笠松泰洋先生の「ウクライナ・リビウ公演報告会」開催
- ・1月22日(水)早大中国修士課程生も参加して、「第2次トランプ政権と今後の政界情勢についてディスカッション実施 2月19日(水)に同一テーマで第2弾実施
- ・2月19日(水)第2テーマとして、「各国の夫婦別姓問題について」勉強 ・3月19日(水)高田会員による「百人一首 競技かるたの世界」を体験 ・4月23日(水)玉上会員による「台湾南部旅行～八田與一の足跡を訪ねて」報告 ・5月21日(水)早大修士 胡格溶さんによる「中国の少数民族の世界」プレゼン ・6月11日(水)高田会員による「仏教の世界における曼荼羅」のお話 ・7月23日(水)今後のアジ研テーマ選定検討 トランプ関税について討論実施 ・9月17日(水)当麻会員による「西アフリカの旅～奴隸貿易の歴史」プレゼン ・10月15日(水)猿田佐世氏講演会共催 テーマ「新しい日米外交を切り拓く～戦争を回避する」実施 ・11月19日(水)出前講座「米軍所沢通信基地」実施

③来年度の方針 今年度同様アジアをとりまくホットな話題を取り上げる。

2. 楽悠クラブ 代表：田村 健一郎 連絡先：2949-3434 会員数：27名

①今年度の方針

DVD、LDによる月例会鑑賞において、オペラ、クラシック、ミュージカル、ジャズ、バレエ、音楽映画など、様々なジャンルの音楽を鑑賞する。

②今年度の活動実績

- 【11月】2025年度鑑賞演目候補・担当を選定、
マスカニ歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナミュージカル」 14名参加
- 【12月】総会、フォークソング、その他を楽しむ 19名参加
- 【1月】ヴェルディ歌劇「仮面舞踏会」16名参加 「サークル総会&新年会」15名参加
- 【2月】ヴェルディ歌劇「アイーダ」17名参加 【3月】映画「クララ・シューマン愛の協奏曲」16名参加 【4月】三大テノール・ライブ「横浜アリーナライブ」21名参加
- 【5月】モーツアルト歌劇「コジ・ファン・トウッテ」17名参加
- 【6月】映画「Rhapsody in blue」15名参加
- 【7月】ミュージカル映画・演奏 17名 & 暑気払い会 11名参加 【8月】休会
- 【9月】小澤征爾特集、サイトウ・キネン オーケストラ演奏、ドキュメンタリー他
- 【10月】レハール喜歌劇「メリーウィドウ」 例会 10月15日

③来年度の方針 月例会では、様々なジャンルの音楽を鑑賞する。

3. 食を通して所沢を知る会 代表：矢崎みどり 連絡先：04-2943-4250 会員数：13名

①今年度の方針

未来の食や食と環境問題について学ぶ。

他のサークルとの交流も深めたい。フードバンクへの協力は継続する。

②今年度の活動実績

- | | |
|-----|--------------------------|
| 1月 | 新年会 |
| 2月 | オイスターバーと品川水族館を尋ねる |
| 3月 | 日本の米の将来性（エミテラス・フードコートにて） |
| 4月 | 料理教室 ケーキとおやき |
| 5月 | 築地本願寺と築地場外を訪ねる |
| 6月 | 栄養教室（骨粗しょう症について） *保健センター |
| 7月 | 消費者センターの話 *出前講座 |
| 9月 | 料理教室 ローストビーフと夏のお菓子 |
| 10月 | 三上製麺所訪問 |
| 11月 | 未来の食糧問題について本を読んでの話し合い |
| 12月 | 活動計画の話し合い |

③来年度 18期末をもって倶楽部から退会することになった。

4. 地球環境に学ぶサークル 代表：芝間伸剛 連絡先：080-5453-0117 会員数：9名

1. 今年度の方針

毎日の暮らしの中で感じる「なんか変だな」とか、「もっと良くできないだろうか」をみんなで持ち寄り、話し合い、学び、行動していく

2. 今年度の活動実績

- (1) 施設見学会：ソーラーシェアリング発電設備（西武アグリ）
- (2) 定例会での討論、学習した情報は「広場」、HPに掲載・発信
主な学習事項：第7次エネルギー基本計画の骨子、我が家のCO₂排出量の調査、ゼロカーボンビルとは何か、海洋環境の変化、紙おむつのリサイクルの必要性と実用化に向けての課題等
- (3) 講演会共催：猿田佐世氏「新しい外交を切り拓く」
- (4) 分科会「ところざわ倶楽部読書会」を継続実施

3. 来年度の方針

- (1) 施設見学会：食品工場等見学（今後協議し決定）
- (2) 定例会で学習・討論：情報を持ち寄り学習した結果を「広場」HPに掲載・発信
- (3) 講演会・出前講座：テーマ等決めて開催
- (4) 分科会「ところざわ倶楽部読書会」は、来期倶楽部の一サークルとして独立する

5. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 代表：田口元也

連絡先：090-9820-5668 会員数：8名

1. 今年度の方針

- ① 定年後も健康で豊かな生きがいのある生活をめざす。
- ② シニア世代の社会参加による元気なマチづくりをめざす。
- ③ シニア世代の相互の助け合い・支え合いによる健康寿命の延伸をめざす。

2. 今年度の活動実績

- ・定例会の開催：毎月1回、シニア世代の身近な問題をテーマに、市政に関する出前講座「所沢市の地方創生」「所沢市の上下水道事業」を開催した。また、早稲田大学学生との「世代間交流」を2回行った。
- ・市民活動支援センター活動：市民活動フェスタ、パネル展などに参加。
- ・スマイルパイレーツ活動：所沢まちづくりセンターまつり、市民フェスティバル、市民活動フェスタ、倶楽部まつり等に参加。定期練習は月2回、土曜日開催。

3. 来年度の方針

- ① 「健康長寿サロン」の開設；広く学習活動・交流会などを開催。なんでも話し合える場にする。また、市政理解のための「出前講座」開催にも取り組む
- ② スマイルパイレーツの活動：恒例行事のほか、市主催の行事、老人ホームなどの施設訪問。また、創立10周年に向けた記念行事の取り組みを予定。

6. 所沢の自然と農業 代表：稻村洋二 連絡先：090-5530-4703 会員数：40名

1. 今年度の活動実績

- 1月：陽子ファーム、伊東農園の落ち葉掃き参加 2月：トトロ21号地落ち葉掃き実施。
3月：春のハイキング。昭和記念公園（18名参加） 4月：バス旅行実施。山梨県の新府城訪問（26名参加） 5月：増田園の新茶摘み。高山村宮川農園ボランティア
7月：暑気払い実施 8月：原則夏休み。ところざわ倶楽部祭り寸劇の練習。
9月：寸劇の練習。“農と里山シンポジウム”参加
10月：高山村宮川農園リンゴボランティア
11月：秋のハイキング（予定）
今年度は市大ファーム、山田ファームとも地主さんとの契約が切れ、新たに耕作地を探した。その結果新しい市大ファームを100m程離れた場所に畑を借りる事として契約を結んだ。8月に移転。山田ファームは新たに北野ファームとして場所を所沢西高校の近くに借りた。本年1月より耕作を開始。

2. 来年度の活動計画

- * 基本的には本年度と同じような活動が中心となるが、落ち葉掃きについては陽子ファームと伊東農園の実施日が同じ日となり、調整が必要となる。
- * 日本茶摘みに小手指の和田農園を含めるかどうか検討が必要。
- * 信州高山村の宮川農園のボランティア活動継続についてその方法の検討

7. 野老澤の歴史をたのしむ会 代表：茂出木正和 連絡先：04-2924-7533

会員数 45名

①今年度の方針 『歴史を学び、歴史ロマンに触れ、親睦を深める。』

「歴史」の学びを通じ、我がまちの「歴史ロマン」に触れる中、会員相互の「親睦」を一層深めることを目的とし、合わせて「明るく楽しい」サークルを目指します。

②今年度の活動実績 『活動は概ね順調です。』

会員は興味ある活動を自由に選択、15名から30名の参加数です。当サークルの特色は「グループ制」による活動運営です。会員を5つのグループに分け、担当するグループが企画・運営を担うものです。会員個々の能力が充分に発揮され、人を知り、仲間となれます。

新年調理講習会、30期市民大学地域史グループ発表会、歴史講座、引又宿を訪ねる、川越古墳巡り、シリーズもので武藏野33観音札所、富士塚巡り等バラエティ豊かな活動を行う。今年の特筆は神田川クルーズであった、日本橋川・神田川・隅田川のクルージングで江戸・東京の歴史を巡りました。定期総会を含め計画の20の活動は全て実施見込みです。

③来年度の方針 『多様な学びを通じて、明るく楽しいサークルを目指す！』

定期総会までに会員の意見を広く求め、体験、探訪、見学、講座、バス旅行等の来期計画を策定する。多様な学びを通じて、地域の歴史ロマンに触れ、会員相互の親睦を一層図ります。原則月2回の活動を、全員参加のグループ担当制により実施し、「明るく楽しい」サークルづくりに継続して取り組みます。

8. ドラマティック・カンパニー 代表：柳澤千賀子 連絡先：070-4296-3846 会員数：13名

① 今年度（18期）の方針：

- ・毎月2回の例会を実施維持・読み終えた作品の配役を決めて舞台本番のように行い、先生のコメントを頂く
- ・別ジャンル作品、未読作品の朗読

② 今年度（18期）の活動実績：

- ・読み終えた作品・「恋の骨折り損」（2023/4月～12月）、「ヘンリー6世」（2024/1月～1月）、「リチャード三世」（2025/2月～5月）、「ヘンリー5世」（2025/5月～）
- ・2025/9月の俱楽部まつり舞台朗読：「リチャード三世」

③ 来年度（第19期）方針：

- ・定例会（第一、三土曜日）での朗読継続
- ・「ヘンリー5世」の再開（舞台朗読練習のため6～9月中断）読了
- ・登場人物の理解（作者の意図）に努め、表現力を高める 発声・音色の工夫
- ・「戯曲」の二回目、三回目の再読にトライし 以前と違う解釈・理解・表現を考える

9. 懐かしの映画・鑑賞会 代表：二上拓夫 連絡先：080-1250-6151 会員数：22名

①今年度の方針

例年同様月2回の上映会を目指す。暮らしの歳時記、川越スカラ座 無声映画鑑賞ところざわ倶楽部まつり参加。所沢JAZZフェスティバル他参加。

②今年度の活動実績

例年通り2回/月の上映会の計画を立てる。

1月繭玉飾り、7月七夕飾り、皆さんで食事会を行いました。

1月喜劇「急行列車」2月「ジャイアンツ」3月「黒部の太陽」4月「ポセイドンアドベンチャー」「キネマの天地」5月「夕陽のガンマン」7月、8月 西田敏行氏を偲んで「ステキな金縛り」、「敦煌」9月「栄光のルマン」上映しました。

以後、坂本九主演「上を向いて歩こう」11月「最後の初恋」11月 年度纏め会「晩春」

12月（ALWAYS/1作目三丁目の夕日）上映予定。

③来年度の方針

基本の方針に変更なし。

新しく 映画由来の場所に出てみる行動を立てる。（電車利用で）

高齢者の集まる場所あれば出張して実施。（地区集会所利用）

10. 脳活サークル 代表：野口喜美夫 連絡先：090-8054-3317 会員数：16名

① 今年度の方針（来年度の方針も同じ）

基本的考え方を「健康寿命を如何に延ばすか」ということに置いて活動する。

② 今年度の活動実績・予定

月日	活動内容	担当	備考
4月28日	総会/2025年度の活動計画決定	野口	実績
5月26日	国立障害者リハビリテーションセンター見学	山下	実績
6月23日	笑う「腸」には「福」来る（講義）	鵜野沢	実績
7月29日	認知症を予防する栄養教室	上原	実績
9月13日	落語鑑賞	岡田	実績
10月24日	パークゴルフ大会	森井	実績
11月17日	ハンドセラピー	泉	実績
12月9日	昼食親睦会（プレゼント交換/300円程度）	山田	予定
1月26日	懐かしのフォークソングで脳の活性化	石井	予定
2月16日	認知症関連講座	泉	予定
3月23日	Pre 総会と次年度の活動計画の検討	野口	予定

11. 傍聴席 代表 : 石堂智士 連絡先 : 2947-0835 会員 : 12名

①今年度の方針（来年度の方針も同じ）

「傍聴席」は所沢市の市議会を傍聴し、市政と市政に関する身近な問題を幅広く仲間と話し合い考えます。またブログ「傍聴席」を通して伝えることを目的にしています。

②今年度の活動実績・活動計画

6. 11. 18 「衆議院選挙結果」の自由討論会
5. 12. 16 「まちづくりセンター条例制定」の学習会（市議会だより No.212）
7. 01. 20 「令和 7 年総会」の事業・会計報告、「佐野議員へ猛省決議」
7. 02. 17 「西所沢駅前景観プロジェクト」と「『公共』のススメ」の自由討議
7. 03. 17 「令和 7 年度施政方針」、「特定外来生物駆除」、「トランプ外交」の討議
7. 04. 21 「小手指火車站創設之碑」、「TPS ～投稿」、「賃金と物価」、の自由討議
7. 05. 19 「通年会期制の開始」、「マイナ保険証の利用」、「減少社会」の討議
7. 06. 16 「6 月市議会報告」、「中核都市方針」、「令和コメ騒動」の自由討議
7. 07. 23 「山口議員・大久保議員との意見交換会」、「参議院選挙結果」の討議
7. 09. 17 「9 月市議会報告」、「保健所設置基本計画素案」の学習会
7. 10. 20 「新人議員・神戸鉄郎氏との意見交換会」、「6 年普通会計総括表」予定
今年の参加者は 5～13 人/回です。ブログ http://blog.livedoor.jp/tokocitizen_c14

12. 民話の会 代表 : 仲山富夫 連絡先 : 090-3902-0283 会員数 : 13 名

① 今年度の方針

- i . 各種老人施設や「お話し会」会場での開催に向けての準備と各会場に応じた構成演出を考えて語りのスキル UP を図る。
- ii . 所沢の民話や民間伝承を題材に積極的に物語づくりに挑戦する、
- iii. 第 4 回「所沢民話の由来地巡り」を実施する（来迎寺～山口觀音～柳瀬川周辺と狭山湖方面へ）。

② 今年度の実績

昭和時代に発刊された所沢の民話「鼠薬師」を、民話の会として話を膨らませて、『新編・ねずみ薬師』として創作した。並びに埼玉県秩父市大滝村で語り継がれてきた『猿の嫁』を探り上げた。これら二篇を「第 5 回ところざわ俱楽部まつり」にて発表。

新会場「みんなの家・東所沢」「損保ケアラヴィーレ東所沢」にて、「お話会」開催。

③ 来年度の方針

- i . 引き続き、所沢の民話や民間伝承を題材に『桜淵地蔵尊』『勘七猫塚』の二篇を民話の会風に膨らませながら物語づくりに挑戦する。
- ii . 第 4 回目の「所沢の民話の由来地巡り」計画が未実施であったことから、来年度は必ず実施し民話の歴史に触れる（来迎寺～山口觀音～柳瀬川周辺～狭山湖方面へ）。
- iii. 「民話の会」設立 14 年を迎えて、培ってきた技術経験信頼をより大切にして、一致団結し「喜ばれることによろこびを」を合言葉に活動する！

13. ITサロン 代表：玉上佳彦 連絡先：090-2497-1076 会員：8名

① 今年度の方針

毎月2回のITサロンを開催し、主にパソコンの相談会を実施。

② 今年度の活動実績

8月の夏休みを除いて、毎月2回（曜日は不定期）の相談会を実施。

原則として、相談は事前予約不要。

主に参加者の相談（メール設定、Word、Excelなど）の指導対応

各種AI（Chat GPT、Copilot、Gemini、Deep Seekなど）の利用について学習

③ 来年度の方針

前年度同様に月2回のITサロンを開催。

Windows 11の設定の指導。

各種AIの実用的な活用法について学習。

14. 謡曲・仕舞を楽しむ会 代表：野口喜美夫 連絡先：090-8054-3317 会員数：13名

① 今年度の方針

観世流謡曲名譽師範の竹内先生の指導のもと、謡曲と仕舞の稽古を通して能楽の幽玄で奥深い世界を楽しむ。

② 今年度の活動実績（稽古：2回以上/月を継続して実施）

【ゆかた会】

7月15日（火）13:30から新所沢まちづくりセンターのホールにて川越市、朝霞市の竹内先生の指導の同好のメンバーとともに謡曲・仕舞を実演した。（40名参加）

【ところざわ倶楽部まつり】

9月26（金）所沢まちづくりセンターのホールにて謡曲・仕舞を実演した。

演目は謡曲：素謡 紅葉狩 連吟 大仏供養 仕舞 紅葉狩、熊野、放下僧。

※ 今年度の今後の予定 素謡：竹生島、羽衣、経正 仕舞：高砂、羽衣、敦盛

③ 来年度の方針

◎ 基本方針は今年度と同じ。

・2026年「第34回 所沢まちづくりセンターまつり」にエントリーし、実演する。

・2026年度の「ところざわ倶楽部まつり」に全員参加で謡曲と仕舞を実演する。

3. 第18期 会計報告および監査報告
(2024年11月1日～2025年10月31日)

«収入の部»

(単位円)

項目	予算	決算	増減	備考
会費	460,000	459,000	△1,000	18期実績 230名 (2,000or1,000円)
会報郵送費	12,000	14,400	2,400	18期実績 12名 × 1,200
文芸講座受講料	135,000	100,500	△34,500	会員63名 × 1,000、一般25名 × 1,500
演芸会入場料	0	58,000	58,000	会員50名 × 500、一般33名 × 1,000
時局講演会	0	17,000	17,000	会員無料、一般34名 × 500
雑収入	0	13,436	13,436	第5回倶楽部まつり受取り寄付金
当期収入計	607,000	662,336	55,336	
前期繰越金	98,431	98,431	0	郵貯・現金合計
合計金額	705,431	760,767	55,336	

«支出の部»

(単位円)

項目	予算	決算	増減	備考
講師謝礼	143,000	150,000	7,000	18期総会20,000、倶楽部寄席30,000、文芸講座50,000円、講演会30,000、まつり20,000円
会場費	183,000	187,270	4,270	理事会・総会・講座・講演会・まつり
振替手数料	6,000	7,045	1,045	郵貯振替手数料
会報発行費	50,000	56,299	6,299	「広場」用紙代・印刷代・インク代等
会報郵送費	20,000	21,340	1,340	特別会員含む
通信費	13,000	6,270	△6,730	総会資料発送費等
	12,000	12,000	0	正副会長連絡事務費
事務費	75,000	75,225	225	チラシ・ポスター、事務用・コピー代、総会花代
サークル補助費	65,000	66,000	1,000	活動補助費(14サークル、4月支出)
IT費	117,658	19,958	△97,700	HPサーバー使用料、PC購入は未実施
雑費	0	15,436	15,436	子ども未来基金寄付13,436会費返却2,000
予備費	10,000	0	△10,000	
当期支出計	694,658	616,843	△77,815	
当期支出差	△87,658	45,493	133,151	
次期繰越金	10,773	143,924	133,151	現金・郵貯合計
合計金額	705,431	760,767	55,336	

上記のとおり報告いたします。

2025年10月31日 総務部長 中原幹男 印 会計 大西 優 印 羽生睦子 印

<監査報告>

ところざわ倶楽部(2024年11月1日～2025年10月31日)の会計書類について監査を行い、報告書は2025年10月31日現在の財産および収支状況を適正に表示していることを認めます。

2025年11月1日 会計監査 田口元也 印 木下みえこ 印

4. 第19期 役員改選（案）

* 第19期空欄の役職は、第1回の理事会にて決定します

No	期	氏名	第19期役職	理事	第18期役職	推薦母体及びサークル
1	27	野口 喜美夫	会長	留任	副会長事業部長	謡曲・仕舞を楽しむ会
2	26	芝間 伸剛	副会長事業部長	留任	事業部副部長	地球環境に学ぶサークル
3	28	横山 芳江	副会長広報部長	留任	副会長広報部長	所沢の自然と農業サークル
4	20	中原 幹男	副会長総務部長	留任	副会長総務部長	アジア研究会
5	22	大西 優	総務部会計	留任	総務部会計	所沢シニア世代地域デビュー支援の会
6	26	羽生 瞳子	総務部会計	留任	総務部会計	理事会推薦
7	25	松尾 基昭		留任	会長	楽悠クラブ
8	22	高橋 信行		留任	事業部担当	ドラマティック・カンパニー
9	26	鷺見 るり		新任		野老澤の歴史をたのしむ会
10	23	内川 賢治		留任	事業部担当	懐かしの映画・鑑賞会
11	一般	泉 志津子		留任	事業部担当	脳活サークル
12	17	石堂 智士		留任	事業部担当	傍聴席
13	27	根岸 順子		留任	事業部担当	民話の会
14	30	下村 直也		留任	事業部担当	理事会推薦 32期企画委員長
15	23	大木美和子		留任	総務部担当	理事会推薦
16	29	西田 尚美		留任	総務部担当	市民大学オカリーナ
17	20	玉上 佳彦		再任		ITサロン
18	21	金井 晶子		再任		脳健康とフレイル予防研究会
19	17	河登 一郎		新任		ところざわ倶楽部読書会
20	23	木下みえこ	会計監査	留任	総務部会計	理事会推薦
21	20	田口 元也	会計監査	留任	会計監査	理事会推薦

退任役員：岡部まさ子、鹿嶋伸郎、佐野喜代子、安田好子、堀 倫邦

5. 第19期 ところざわ倶楽部 活動方針（案）

～地域に根差したサークル活動のさらなる発展に向けて～

会長 野口 喜美夫

世界に目を向けると、ウクライナやガザでの戦争状態はいまだ収束の兆しが見えず、さらに米国ではトランプ政権誕生以来、関税という“武器”を世界中に振りかざす動きが続き、混迷の度合いは一層深まっているように見えます。

一方、日本では記録的な真夏日の連続により、体調を崩された方も多いのではないかでしょうか。政局の面では、高市政権の誕生により一時の混乱は落ち着きを見せたものの、依然として課題は山積しており、先行きに不透明感が残っています。

こうした中にあっても、私たち「ところざわ倶楽部」は、足元である所沢の地にしっかりと根を張り、地域に寄り添った活動を続けてまいりたいと思います。具体的には、各サークル活動の継続と充実を図るとともに、活動内容のさらなるレベルアップを目指し、地域への貢献も視野に入れて取り組んでいきます。

その一環として、「春のイベント」や「時局講演会」「ところざわ倶楽部まつり」など、倶楽部全体で取り組む行事を一層盛り上げ、地域への発信力を高めていきたいと考えています。また、市民大学との連携をこれまで以上に強化し、31期生への勧誘や32期生への働きかけも積極的に進めます。

広報面では、会報「広場」やホームページを、一般の方にも親しみをもって読んでいただける内容となるよう工夫を重ねていきます。さらに、所沢市が市の広報とともに毎月発行している生涯学習情報誌「翔びたつひろば」ほか、地域紙への働きかけや取材協力を通して「ところざわ倶楽部」および各サークルの認知度をより一層高めたいと考えています。

加えて、地元の大学との事業協力も継続し、広く社会貢献に結びつけていきたいと思います。これらの活動が、ひいては国際協力の一助となることも期待しています。

全体として「ところざわ倶楽部」および各サークルの多様な活動を着実に継続し、さらなる発展を目指してまいります。会員の皆さまのご支援とご協力を、心よりお願い申し上げます。

【活動目標】

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 活動の維持・推進の継続 | 2. 市民大学との関係強化 |
| 3. ところざわ倶楽部の内外へのPR推進 | 4. 社会貢献への積極的な取り組み |

これらの活動の要となるのは、何といっても「人」です。共助の精神を持ち、理事や世話役として活動を支えてくださる方を広く募集しています。自薦・他薦を問いません。ぜひ積極的に手を挙げていただければ幸いです。

第19期、皆さんと共に歩み、充実した一年を築いてまいりましょう。どうぞよろしくお願ひいたします。

6-1 事業活動計画（案）

事業部長 芝間 伸剛

1. 活動方針

第19期は、新入会員の歓迎を兼ねた春のイベント、時局講演会、ところざわ倶楽部まつりなど、例年通りの行事について、理事を通じて会員の皆様からのご意見を幅広く伺い、元気の出る催しを企画・運営していきたいと考えています。

ただし、文芸講座につきましては、過去企画運営の中心となっていた”葵の会”の倶楽部退会により、集客数や内容・開催頻度・開催方法など反省点が増えているため、見直しを行いたいと考えています。そのため、会員の皆様からのご意見を広く募り、それを基に事業部会議で検討のうえ、理事会に提案する予定です。

本年度も引き続き、会員の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

2. 活動計画

- | | |
|-----------------|--|
| (1) 春のイベント | 参加者が元気をもらえ、楽しめる内容の行事を企画・検討
(音楽または芸能関係のイベント) |
| (2) 時局講演会 | その時々の社会的関心やニーズに即したテーマを設定 |
| (3) ところざわ倶楽部まつり | 年に一度のサークル活動の集大成として位置づけ、舞台部門と展示部門の両面から開催を検討 |

※文芸講座については、在り方を含めて見直しを実施

第19期 活動計画：概要および開催時期

No.	行 事	時 期	備 考
1	春のイベント（新会員歓迎）	2～3月	一般公開
2	文芸講座（開催の有無含め検討）	未定	一般公開
3	時局講演会	7月	一般公開
4	ところざわ倶楽部まつり	9～10月	一般公開
5	定期総会	11月	

6－2 広報活動計画（案）

広報部長 横山 芳江

広報部は、これまでと同様に、各サークルや地域で活躍されている皆さまを応援する情報発信の場として、広報紙「広場」とホームページの2つの媒体を基盤に運営してまいります。具体的には、以下の方針と施策を進めていきます。

1. 活動方針

- ところざわ俱楽部の理念にならい
- ① 学習活動の活性化
 - ② 会員相互の親睦と情報交換の促進
 - ③ サークル活動の学びを地域に活かす
 - ④ 広報活動を通じたネットワークづくり
- を基本に、質の高い情報発信を目指します。

2. 編集体制の充実と強化

- ・18期は編集委員の減少により体制の見直しを進めてきましたが、19期では新たな編集体制のもとで新シリーズの企画・発信に取り組みます。
- ・編集作業の効率化を図るため、パソコンやコピー機などの更新やソフトの導入について、検討を継続します。
- ・編集会議の運営方法も見直し、より円滑で効果的な体制づくりを進めます。

3. 広報紙「広場」の方針

- ・従来どおり8ページ構成の月刊紙として発行し、市民大学受講生や各まちづくりセンター、コミュニティセンターなどへの配布を継続します。
- ・ホームページ上の「広場」デジタル版には「索引」ページが設けられ、バックナンバーが容易に検索可能で、過去の記事をより活用しやすくなっています。

4. ホームページの運営

- ・前期（18期）は玉上氏が専任担当として運営していましたが、19期からは横山・松原が中心となり、できるだけ早期に体制を整え実施していきます。
- ・双方向の情報発信ツールとして、会員からの投稿や情報提供を積極的に受け付け、掲示板の活用を促進します。
- ・今後も、YouTubeを活用し、より楽しく魅力的な媒体となるよう工夫し、ところざわ俱楽部の活動や行事の様子を多くの方にご覧いただけるよう発信を続けていきます。

7.

第19期 予算案

(2025年11月1日～2026年10月31日)

«収入の部»

(単位円)

項目	前18期決算	19期予算	増減	予算案 備考
会費	459,000	460,000	1,000	230名×2,000円
会報郵送費	14,400	14,400	0	12名×1,200円
春のイベント入場料	58,000	0	△58,000	(入場料未定)
文芸講座受講料	100,500	100,500	0	(案) 文芸講座(2回)/会員 63×1,000 一般 25×1,500 *前回実績並
時局講演会	17,000	0	△17,000	(入場料未定)
雑収入	13,436	10,000	△3,436	所沢市社会福祉協議会募金
当期収入計	662,336	584,900	△77,436	
前期繰越金	98,431	143,169	44,738	
合計金額	760,767	728,069	△32,698	

«支出の部»

(単位円)

項目	前18期決算	19期予算	増減	備考
講師謝礼	150,000	150,000	0	総会、春イベント、文芸講座、講演会、まつり
会場費	187,270	189,000	1,730	総会、春イベント、文芸講座、講演会、まつり 理事会・編集会議等
振替手数料	7,800	8,000	200	会費等のゆうちょ振替手数料
会報発行費	56,299	60,000	3,701	「広場」(印刷代・用紙・封筒・印刷代等)
会報郵送費	21,340	22,000	660	「広場」送料(郵送希望者・特別会員)
通信費	6,270 12,000	5,000 12,000	△1,270 0	総会資料等送料 正・副会長連絡事務費
事務費	75,225	75,000	△225	チラシ・ポスター・講座資料印刷代・コピー用紙封筒・総会花代等
サークル補助費	66,000	72,000	6,000	活動補助費(16サークル)
IT費	19,958	37,000	17,042	サーバー使用料2社3万円、ウイルスソフト更新7千円
雑費	15,436	20,000	4,564	
当期支出計	617,598	650,000	32,402	
当期収支差	44,738	△65,100	△109,838	*当期支出>当期収入
次期繰越金	143,169	78,069	△65,100	
合計金額	760,767	728,069	△32,698	

総務部長 中原幹男

【メモ】



